



## 取扱説明書

### はじめに

MiCreator は、複数のマイクとアクセサリで構成されるマイクシステムです。用途に応じて、メインのマイクである **MiCreator Studio** のみを使用することも、システム機器を複数組み合わせ使用シナリオを広げることできます。また、実際の使用場面に応じて組み合わせた **MiCreator Studio** と **MiCreator Satellite** および必要なすべてのケーブルを含めたシステム一式としてもご利用いただけます。

本書はそのシステム全体に関するマニュアルです。目次から、ご利用の機器に適した章を探してご参照ください。

本機器をお使いになる前に、この取扱説明書を読んで内容をご理解のうえ、記載の使用方法に従ってお取り扱いください。

- 本機器は、意図される用途にのみ使用してください。Austrian Audio は、不適切な取り扱いや誤用により生じた破損には一切責任を負いかねます。
- 最大音量でヘッドフォンを長時間着用していると、聴力を損なうおそれがあります。
- 本機器に不具合が発生した場合は、使用を中止してください。
- 本機器は乾燥した安全な場所で保管してください。
- 本機器は所定の動作温度範囲（0℃～45℃）内で使用してください。
- 濡れた状態や湿気の多い場所で本機器を使用しないでください。
- 落とさないようにしてください。
- 本機器はプロフェッショナル仕様のマイクです。小さなお子様の近くに本機器を置かないようにしてください。
- 本機器のお手入れの際には、柔らかい、乾いた布で拭くようにしてください。
- 特に指示のない限り、他社製のアクセサリを使用しないようにしてください。
- ユーザー自身で修理できない内蔵部品もあるため、本機器を分解しないでください。
- 本機器（MiCreator Studio + MiCreator Satellite）の交換可能なカバープレートには磁石が使用されています。

ここまで説明書をお読みいただきありがとうございます。また、Austrian Audio の製品に信頼をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

## 目次

<b>MiCreator Studio</b> .....	3
コントロールと接続 .....	3
スイッチのオン／オフ .....	3
設置位置と向き .....	4
USB-C®接続の確立 .....	4
ヘッドフォンの接続と起動.....	5
モニタリング（ヘッドフォンのマイク信号の音量）の設定 .....	5
マイクゲインの調整 .....	6
その他デバイスの接続と入力ゲインの調整.....	6
USB-C®接続経由の信号伝送のための追加入力ゲイン .....	8
交換可能なカバープレート.....	10
MiCreator Studio の持ち運び.....	10
技術仕様 .....	11
<b>MiCreator Satellite</b> .....	12
接続方法 .....	12
設置位置と向き .....	13
ヘッドフォンの接続と起動.....	13
マイクとヘッドフォンのゲイン調整.....	13
交換可能なカバープレート.....	14
MiCreator Satellite の持ち運び.....	15
技術仕様 .....	16
<b>MiCreator Y-Lav</b> .....	17
設置位置と向き .....	17
ヘッドフォンの接続と起動.....	17
マイクゲインの調整 .....	17
MiCreator Y-Lav の持ち運び .....	18
技術仕様 .....	19
<b>トラブルシューティング</b> .....	20
MiCreator Studio .....	20
MiCreator Satellite.....	20
MiCreator Y-Lav .....	20
<b>法務情報</b> .....	21

## MiCreator Studio

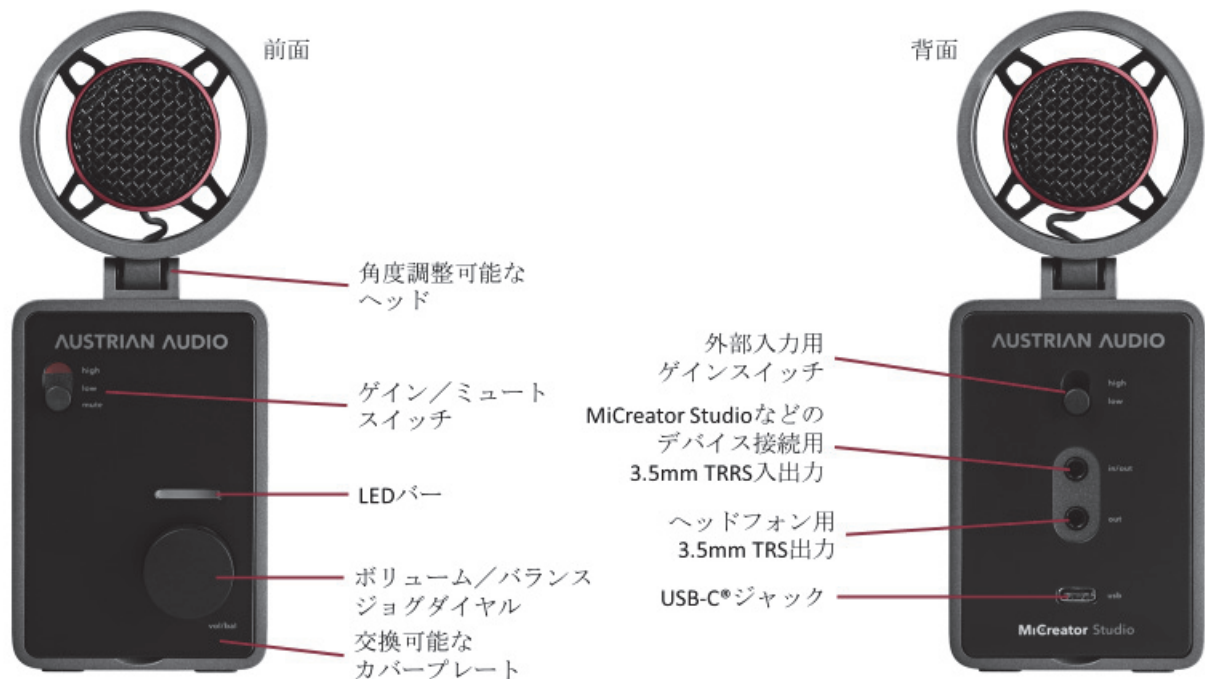
MiCreator Studio は、パートナーデバイス（PC、タブレット、スマートフォンなど）への USB-C®接続が可能なスタジオ用マイクです。

メインのヘッドフォン出力に加え、MiCreator Studio には 2 つ目のヘッドフォン出力として、または同梱の楽器用ケーブルを接続して 2 つの信号を同時に録音するための出力として使用できるジャックがあります。

このジャックは、**MiCreator Satellite** や **MiCreator Y-Lav** の接続にも使用できます。詳しくは、該当の章を参照してください。

注記：このマイクは、**USB 電源アダプタ（別売り）** で給電してアナログマイクとして使用することもできます。

### コントロールと接続



### スイッチのオン/オフ

本機器にオン/オフのスイッチはありません。USB-C®ソケット（5V、250mA）から給電を始めるとすぐに自動的に起動します。起動中は赤い光のアニメーションが LED バーに短時間表示されます。その後、LED バーは音量モード（緑色）に切り替わります。

## 設置位置と向き

MiCreator Studio は、卓上またはマイクスタンドでの使用に適した設計になっています。底面には、標準的なマイクスタンドに取り付けるための 3/8 インチ径のネジ穴があります。5/8 インチ径ネジ用の MCTA ネジアダプタも付属しています。



また、底面には平らな面にしっかり立てるためのゴム足もついています。吊り下げカプセル式なので構造伝播ノイズの遮断性能が高く、手持ちマイクとしても使用することができます。

いずれの方法で使用する場合も、角度調節可能なカプセルヘッドを録音する音源の方向へ常に向けて、カプセルのグリル正面に向かって話すことをおすすめします。

このマイクは単一指向性であるため、マイク背面（コネクタがある側）から来る音は極限まで抑制されます。

カプセルヘッドにはポップガードが内蔵されていますが、それで十分ではない場合は、オプションで Austrian Audio OCP8 などのポップフィルターを使用してください。

注記：長期間使用してスイベルジョイントが緩んだ場合は、スクレュードライバー（Torx® T8）を使用して締め直してください。

## USB-C®接続の確立

本機器は USB Audio Class 1.0/2.0 に準拠しているため、ドライバーをインストールしなくてもすぐに使用することができます。

本機器は、USB-C®、または USB-A（アダプタ経由 - 別売り）ソケットがあるあらゆるデバイスで操作できます。

音声の最大サンプリングレートは 48kHz、ビット深度は 24 ビットです。

同梱の USB-C®ケーブル用の接続部は機器背面にあります。

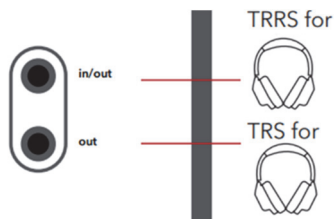
サポートされる USB デバイス：

- Windows® 7 以降で動作する PC
- macOS® 10.7 以降の Mac®コンピュータ
- Linux® Kernel 3.10 以降で動作する PC
- USB-C®搭載の Android™タブレットまたはスマートフォン
- USB-C®搭載の iPhone®
- USB-C®搭載の iPad®
- Camera Connection Kit（提供範囲外）を介して接続した iPhone®/iPad®
- Sony PS4™/PS5™



注記：機器内での信号処理とモニタリングはすべてアナログで行われるため、この USB-C®ソケットに USB 電源（別売り）で給電して MiCreator Studio をアナログマイクとして使用することもできます。

## ヘッドフォンの接続と起動



ヘッドフォンは、背面の「out」（出力）ジャックに接続します。このジャックがメインのヘッドフォン出力です。2つ目のヘッドフォンを接続する必要がある場合は、「in/out」（入出力）ジャックに接続できます。どちらのソケットからも同一の信号が出力され、前面にある音量とモニタリングのコントロールも共用となります。

そのため、2つの同型のヘッドフォンを使用するか、少なくともインピーダンスが類似したヘッドフォン（Austrian Audio Hi-X15 では 25 Ω）を使用することをおすすめします。

ヘッドフォン出力の信号の音量は、前面のジョグダイヤルで調整します。ヘッドフォン音量を調整するには、ジョグダイヤルを押して LED バーを緑色モードにする必要があります。

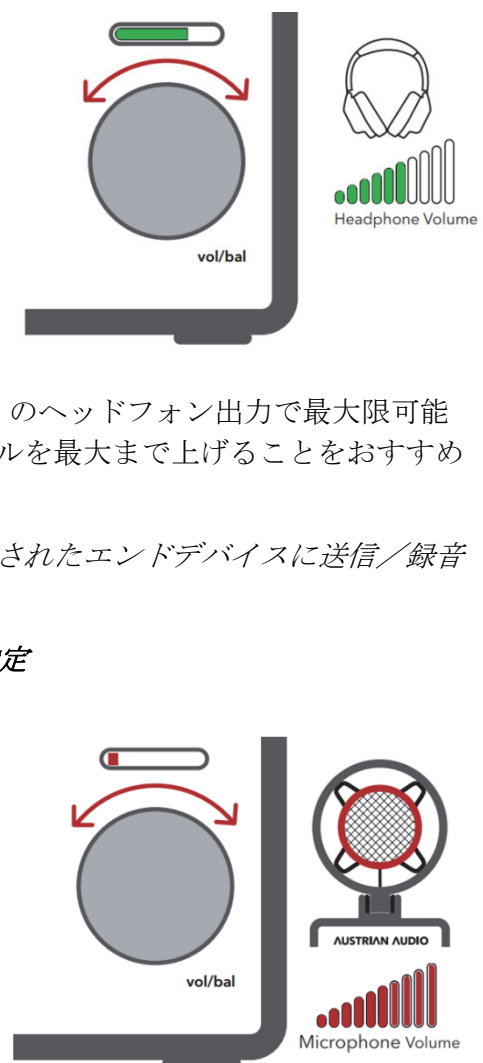
緑色モードでジョグダイヤルを時計回りに回すとヘッドフォンの音量が上がり、反時計回りに回すと音量が下がります。ボリュームを完全に下げると LED バーが緑色で点滅し、ヘッドフォン出力がミュート状態であることが示されます。

USB-C®接続されたエンドデバイスの音を MiCreator Studio のヘッドフォン出力で最大限可能なレベルで再生できるよう、エンドデバイスの出力レベルを最大まで上げることをおすすめします。

注記：ヘッドフォンの音量を調節しても、USB-C®で接続されたエンドデバイスに送信／録音される信号の音量には影響しません。

### モニタリング（ヘッドフォンのマイク信号の音量）の設定

ジョグダイヤルを押すと、LED バーが赤色モードになります。この状態でジョグダイヤルを回すと、モニタリングバランスを示す LED のドットが移動します。LED のドットを左端まで動かすと、ヘッドフォン出力のマイク信号が最大音量で再生されます（ボーカルの録音中に自分の声がよく聞こえるようにする場合など）。LED のドットを右端まで動かすと、ヘッドフォン出力でマイク信号がまったく再生されなくなります（ビデオ会議で自分の声が聞こえないようにしたい場合など）。



MiCreator Studio の「in/out」（入出力）ジャックに追加のデバイスを接続している場合、LED のドットを右へ動かす（ジョグダイヤルを時計回りに回す）と、そのデバイスの信号のヘッドフォン出力音量が上がります。追加デバイスの例としては、シンセサイザー（同梱の楽器用ケーブルで接続）、MiCreator Satellite、MiCreator Y-Lav ピンマイクなどが挙げられます。逆に、反時計回りにダイヤルを回すと、その信号のヘッドフォン出力音量が下がります。

(同時に、上記のとおりメインマイク信号の音量が上がります)。これにより、ヘッドフォンから聞こえる 2 つのシグナルの音量バランスを調整することができます。  
赤色モードの状態ではジョグダイヤルを 2 秒間長押しすると、LED のドットが中央に移動して、マイク信号と「in/out」接続信号がヘッドフォンで同音量で再生されます (双方の音源の音量が同じ場合)。

注記：モニタリングバランスを調節しても、USB-C®で接続されたエンドデバイスに送信される信号の音量には影響しません。

## マイクゲインの調整



MiCreator Studio の前面には、3 段階のマイクゲイン切替スイッチがあります。このスイッチを一番下の「mute」(ミュート)の位置にすると赤い印が見えるようになり、入力側でマイクがミュートされていることが示されます。これは、いわゆるハードウェアミュートの状態です。この状態にすると、会議ソフトウェアなどのミュート機能の設定状態に関係なく、マイク信号はヘッドフォンや USB-C®で接続されたエンドデバイスには送信されません。ただし、このスイッチでミュートできるのは内蔵のマイクカプセルからの信号のみです。「in/out」(入出力)ジャックに接続された音声はミュートされません。

このスイッチを「low」(低)または「high」(高)に設定すると、マイク信号が「low」では 0dB、「high」では 20dB 増幅されます。この増幅は、ヘッドフォン出力 (モニタリング) の信号と、USB-C®で接続されたエンドデバイスに送信される信号の両方に影響します。

話し言葉や繊細な歌声などの静かな信号に対しては、「high」に設定することをおすすめします。ドラム、ギター、管楽器や大きな歌声などの強い信号に対しては、「low」に設定することをおすすめします。提供範囲に含まれるクイックスタートガイドに、いくつか例が記載されているのでご参照ください。

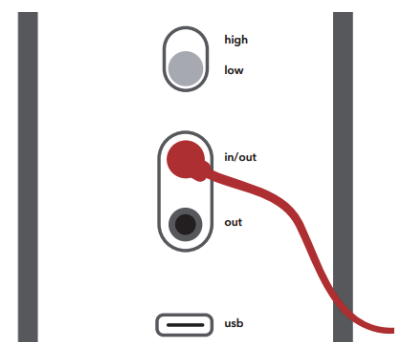


MiCreator Studio は、ステレオ音声デバイスとして認識されます。MiCreator Studio に他のデバイスが接続されていない場合、マイク信号は USB-C®接続経由で常に左右の USB チャンネルに送信されます。

## その他デバイスの接続と入力ゲインの調整

本機器の背面には、「in/out」(入出力)ソケットに接続されたその他デバイスの入力ゲインを調節できる 2 段階のスイッチがあります。

提供範囲に含まれる楽器用ケーブルを接続しているときは、このスイッチを「low」(低)に設定することをおすすめします。キーボードや、アクティブピックアップを搭載したギターなどの電子音響楽器からは、音量レベルが高い音が出ることがあるからです (また、「low」に設定すると、接続された楽器の信号をできるだけ歪ませないため、入力インピーダンスが可能な限り高い値に設定されます。詳しくは、**技術仕様**の章をご参照ください)。





注記：付属のMCC1 楽器用ケーブルのプラグ内には、ケーブル自動検出（プラグイン電源と入力インピーダンスを自動的に切り替えるためなど）用の電子部品が含まれています。そのため、楽器を接続する際は付属のMCC1 楽器用ケーブルのみを使用してください。

また、「in/out」ソケットに2つ目のヘッドフォンを接続する場合や、通常は何も接続しない場合は、モニタリング時のノイズを最低限に抑えるため、このスイッチを「low」に設定することをおすすめします。

MiCreator シリーズのその他のマイク（MiCreator Satellite、MiCreator Y-Lav ピンマイクなど）を購入した場合も、マイクの入力ゲインに関しては上記と同様の推奨事項が適用されます。

注記：上記デバイスの端子を「in/out」ソケットで抜き差しするときは、その際に生じる大音量のノイズ（LED バーが一瞬強く光ることで示されます）がヘッドフォンに送信されないようにするため、MiCreator Studio のヘッドフォン出力が短時間ミュートされます。こうした安全策は取られていますが、端子を抜き差しする際は、ヘッドフォン出力に接続されたすべての再生デバイスをミュートする、またはヘッドフォンを耳から外しておくことをおすすめします。

アクセサリが接続されるとすぐに、その信号が USB-C® 接続経由で右チャンネルのエンドデバイスに送信されて2チャンネル（ステレオ）での録音が可能になります。

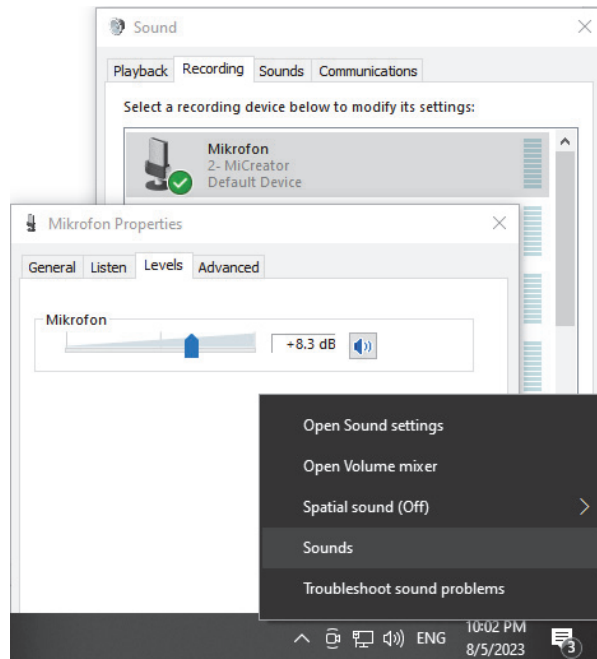


注記：マイク信号または「in/out」ジャックに接続された2つ目のデバイスのモニタリング音声は、常にモノラルです。つまり、ヘッドフォン出力のステレオ音像の中央で再生されます。

## USB-C®接続経由の信号伝送のための追加入力ゲイン

MiCreator の 2 段階の入力ゲインには、信号を良好なレベルで録音でき、かつ、歪みを回避するのに十分なヘッドルームを確保できる増幅度が設定されています。さらに高い増幅度が必要な場合（会議ソフトウェアで良好な音質を保証するためなど）は、**MiCreator Studio** で最大 **15dB** のアナログゲインを追加できます。このゲインは、いずれの入力チャンネルについても、USB-C®接続経由の信号伝送にのみ有効です。

注記：この追加ゲインは、会議ソフトウェアの「ゲインを自動調整する」といったオプションを選択して設定することもできます。



この追加ゲインの設定方法は、**MiCreator Studio** を接続しているデバイスによって異なります。以下にいくつか例を示します。

### Windows 7/8.1/10

タスクバーのスピーカーアイコンを右クリック

➔「サウンド」

「録音」タブをクリックしてマイクの **MiCreator** を右クリック

➔「設定」

「レベル」タブで追加ゲインを設定できます。

注記：数値のフィールドを右クリックすると、レベルの表示を「パーセンテージ」（0

～100）にするか、「デシベル」にするかを選択できます。

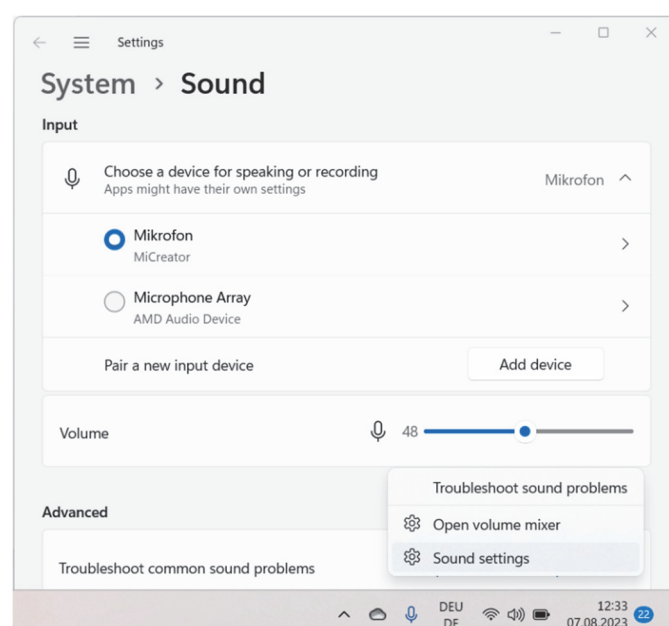
### Windows 11

タスクバーのスピーカーアイコンを右クリック

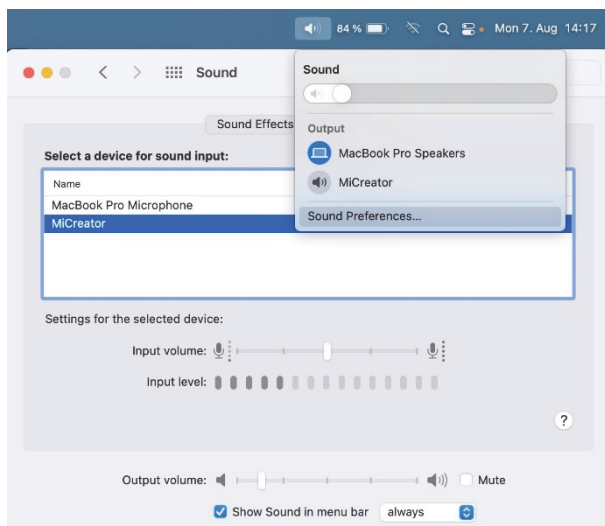
➔「サウンドの設定」

画面下方で、レベルを 0%～100%（0dB～15dB に相当）に設定できます。

注記：「その他のサウンド設定」で **Windows 7/8/10** と同じダイアログを表示して、**dB** 値でレベルを設定する方法もあります。







## macOS®

Ctrl ボタンを押しながらメニューバーのスピーカーアイコンをクリック

➔「サウンド設定…」

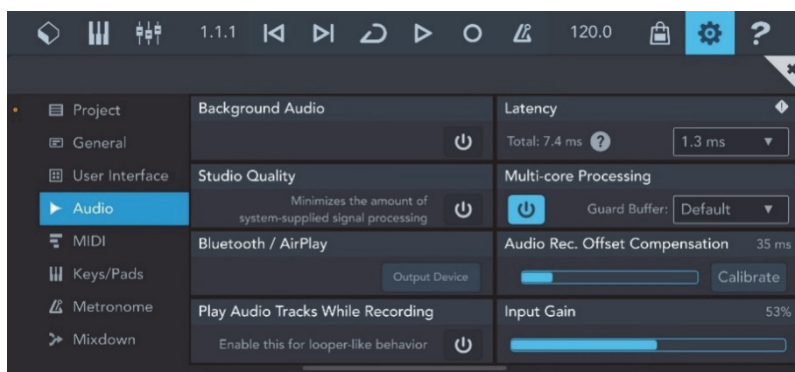
「入力」タブに切り替え

➔デバイスとして **MiCreator** を選択すると、「入力音量」で入力ゲインを設定できます。

注記：「オーディオMIDI 設定」で、dB 値で入力音量を確認して設定することもできます。

## iOS/iPadOS®

iPad® or iPhone®では、「Steinberg Cubasis LE」（提供範囲内、MiCreator Studio により有効化可能）などのアプリを使用して追加の入力ゲインを設定できます。このアプリは App Store からダウンロードして、デバイスと MiCreator Studio を接続する必要があります。



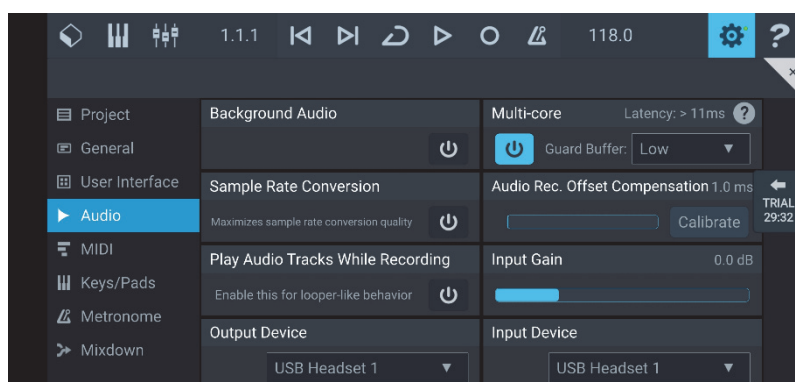
オーディオ設定画面で、「Input Gain」（入力ゲイン）スライダーでゲインを 0%～100%の範囲で調整できます。0%は信号をミュートした状態、100%は最大追加ゲインである 15dB を示します。最小ゲインである 0dB に設定するには、スライダーを 1%に設定します。

## Android®

Android®では、デバイスやアプリに応じてさまざまな方法で追加の入力ゲインを設定できます。詳しくは、それぞれのユーザーマニュアルをご参照ください。ここで例として表示しているのは、30 分のデモ版を Play ストアからダウンロードできる Cubasis LE です。

オーディオ設定画面に「Input Gain」スライダーがあり、ゲインは最大 12dB、減衰は最大-40dB まで設定できます。

注記：デバイスによっては、上記の例のように MiCreator Studio が「USB Headset」として表示される場合があります。



## 交換可能なカバープレート

カバープレートは交換可能です。たとえば、提供範囲には赤いカバープレートも含まれています。交換するには、**MiCreator Studio** のカバープレート下部にある小さいくぼみに指を差し込みます。すると、簡単にカバープレートを取り外せます。

新しいカバープレートを取り付ける際は、カチッとはめ込むだけで **MiCreator Studio** に内蔵された 4 つの磁石で固定されます。

*注記：提供範囲に含まれるカラーバリエーションに加え、何もプリントされていない白と黒のバージョンもあります。これらは、独自のデザイン用に **MiCreator DIY Plates Studio** として別途購入できます。*

## MiCreator Studio の持ち運び

**MiCreator Studio** を持ち運ぶときは、必ずケーブル類を取り外した状態にしてください。付属の布バッグは、細かいひっかき傷から保護するためのものです。緩衝材付きのキャリーケースに代わるものではありません。**MiCreator Studio** を **MiCreator Satellite** と一緒に持ち運ぶ場合は、別売りの **MCSC Carry Case** をご購入いただけます。



## 技術仕様

デジタル解像度：最大 48 kHz/24 ビット

デジタル接続：USB-C® - USB Audio Class 1.0/2.0 準拠

マイク：

カプセル：エレクトレットコンデンサー

指向特性：単一指向性

周波数帯域：20Hz～20kHz

感度：-35dBFS/Pa（ゲイン「low」）または-15dBFS/Pa（ゲイン「high」）

等価内部雑音レベル：22dB SPL（A）（ゲイン「high」）

最大音圧レベル：130dB SPL（ゲイン「low」）

TRS/TRRS ヘッドフォン出力：

出力：45mW（負荷 32 Ω）

ダイナミックレンジ：89dB（A）

入出力 TRRS：

入力ゲイン：0dB（「low」）/0 dB（「high」）

周波数帯域：10Hz～20kHz

マイクへの電源供給：2.7k Ω で 3.9V

楽器用ケーブル使用時の最大入力インピーダンス：135k Ω（入力ゲイン「low」）

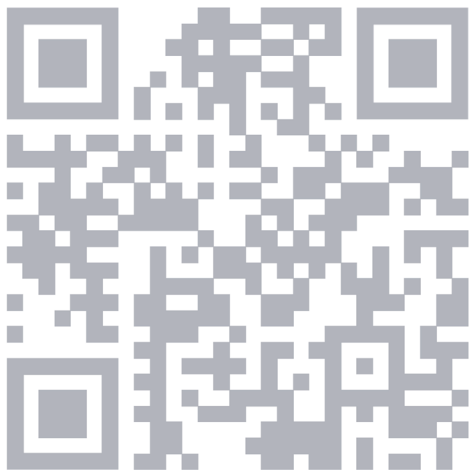
楽器用ケーブル使用時の最大入力レベル（THD0.1%未満）：+10dBu（入力ゲイン「low」）

寸法：155 x 60 x 37mm

重量：370g

すべての仕様は随時変更される場合があります。

周波数グラフと指向特性はこちら：



<https://austrian.audio/micreator>

## MiCreator Satellite

MiCreator Satellite は、エンドデバイス（PC、タブレット、スマートフォンなど）に接続するための 3.5mmTRS ジャックを備えたスタジオ用アナログマイクです。もう 1 つの 3.5mm TRS ソケットは、ヘッドフォンの接続にも使用できます。

MiCreator Satellite は、MiCreator Studio と組み合わせることで最大の性能を発揮します。

注記：MiCreator Satellite と MiCreator Studio は同一の音響特性を持つため、2 チャンネル録音（ステレオ録音やインタビューなど）の際に各チャンネルの音質をまったく同一にできます。

### 接続方法



注記：「link」（リンク）と印字された 3.5mm TRRS ジャックは、ヘッドセット向けの CTIA 規格に従ってピンアサインされています。マイク信号はピン 4 にアサインされているため、不適切な TRRS ケーブルを使用すると信号伝送に干渉が生じるおそれがあります。ピン 3 に信号のアース（シールド）がアサインされている同梱の MCC2 Link ケーブルを必ず使用してください。

接点（ピン）	信号
1	左ヘッドフォン信号
2	右ヘッドフォン信号
3	信号アース（シールド）
4	マイク信号



## 設置位置と向き

MiCreator Satellite は、卓上またはマイクスタンドでの操作に適した設計になっています。

底面には、標準的なマイクスタンドに取り付けるための 3/8 インチ径のネジ穴があります。5/8 インチ径ネジ用の MCTA ネジアダプタも付属しています。

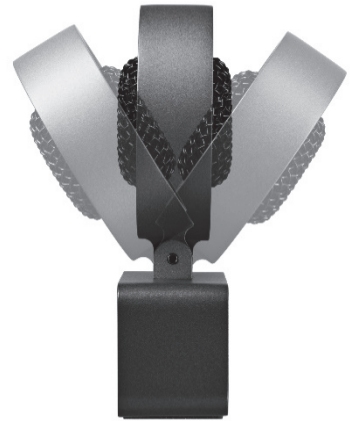
また、底面には平らな面にしっかり立てるためのゴム足もついています。吊り下げカプセル式なので構造伝播ノイズの遮断性能が高く、手持ちマイクとしても使用することができます。

いずれの方法で使用する場合も、角度調節可能なカプセルヘッドを録音する音源の方向へ常に向けて、カプセルの感度が最大となるグリル正面に向かって話すことをおすすめします。

このマイクは単一指向性であるため、マイク背面（コネクタがある側）から来る音は極限まで抑制されます。

カプセルヘッドにはポップガードが内蔵されていますが、それで十分ではない場合は、オプションで Austrian Audio OCP8 などのポップフィルターを使用してください。

注記：長期間使用してスイベルジョイントが緩んだ場合は、スクリュードライバー（Torx® T8）を使用して締め直してください。



## ヘッドフォンの接続と起動

MiCreator Satellite は、付属の MCC2 Link ケーブルを使用して、TRRS ソケットのあるデバイス（MiCreator Studio にある「in/out」（入出力）と印字されたソケットなど）に接続します。MiCreator Satellite のマイク信号がエンドデバイスに送信される一方で、エンドデバイスの再生信号は MiCreator Satellite の「out」（出力）と印字されたヘッドフォンジャックにルーティングされます。

この「out」ジャックは、ビデオ会議の他の参加者の声を聞くためのヘッドフォンの接続などに使用できます。

注記：Y アダプタ（MiCreator Satellite の提供範囲に含まれる HSA6 アダプタなど）を使用して、カメラなどのエンドデバイスのマイクジャックに接続することもできます。この場合、必要なプラグイン電源が供給されていることが条件となります。ご不明な点がある場合は、デバイスのメーカーにお問い合わせください。

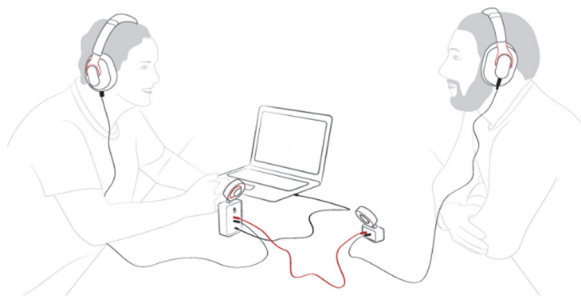
## マイクとヘッドフォンのゲイン調整

MiCreator Satellite は増幅機能を持たないため、音量はエンドデバイスに依存します。たとえば、話し言葉のマイク信号の推奨増幅度は約 20～30dB で、通常はノート PC などのデバイスで設定可能です。詳しくは、メーカーにお問い合わせください。

ヘッドフォンの増幅度（再生音量）も、個人の好みに合わせてエンドデバイスで設定します。

## MiCreator Satellite と MiCreator Studio を組み合わせて使う方法

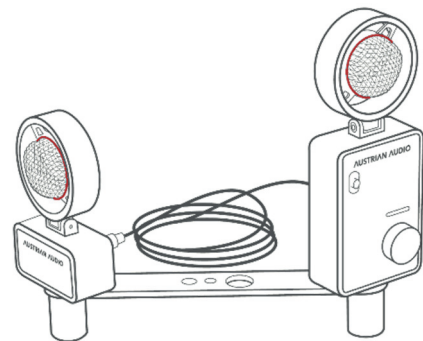
USB-C®接続が可能なマイクである **MiCreator Studio** は、**MiCreator Satellite** に最適なゲインを提供するよう設計されています。**MiCreator Studio** と組み合わせる際に推奨されるマイクゲイン設定については、**マイクゲインの調整**の章、または提供範囲に含まれるクイックスタートガイドをご参照ください。



この2つのデバイスの接続する際は、**MCC2 Link** ケーブルを使用して、**MiCreator Studio** の「in/out」（入出力）ソケットと **MiCreator Satellite** の「Link」（リンク）ソケットを接続

します。このように接続すると、**MiCreator Studio** のヘッドフォン出力が **MiCreator Satellite** の「out」（出力）ジャックにリダイレクトされます。この配線にすることで、たとえば双方の話者がヘッドフォン経由で音を聞きながらインタビューを行うといったことが可能になります。

同一の音響特性を持っている **MiCreator Satellite** と **MiCreator Studio** を一緒に使用して、ステレオ録音することもできます。その場合は、これらの製品を **MCTA** ネジアダプタを使用して取り付けられる **MCMB MiniBar**（別売り）の使用をおすすめします。



**注記：***MCMB MiniBar* を使用すると、各デバイスのカプセル間の距離を常に **17cm** に保つことができます。これは「*Office de Radiodiffusion Télévision Française*」が定める **ORTF** ステレオ技術標準に準拠しています。最良の結果を得るには、2つのマイク間の開き角度を **110°** にする必要があります。

### 交換可能なカバープレート

カバープレートは交換可能です。たとえば、提供範囲には赤いカバープレートも含まれています。交換するには、**MiCreator Satellite** のカバープレート下部にある小さいくぼみに指を差し込みます。すると、簡単にカバープレートを取り外せます。新しいカバープレートを取り付ける際は、カチッとはめ込むだけで **MiCreator Satellite** に内蔵された **4** つの磁石で固定されます。



注記：提供範囲に含まれるカラーバリエーションに加え、何もプリントされていない白と黒のバージョンもあります。これらは、独自のデザイン用に **MiCreator DIY Plates Satellite** として別途購入できます。

### **MiCreator Satellite の持ち運び**

MiCreator Satellite を持ち運ぶときは、必ずケーブル類を取り外した状態にしてください。MiCreator Satellite を MiCreator Studio と一緒に持ち運ぶ場合は、別売りの MCSC Carry Case をご購入いただけます。



## 技術仕様

カプセル：エレクトレットコンデンサー

指向特性：単一指向性

周波数帯域：20Hz～20kHz

感度：10mV/Pa

等価内部雑音レベル：22dBSPL (A)

最大音圧レベル：130dBSPL

寸法：100 x 60 x 28 mm

重量：220g

すべての仕様は随時変更される場合があります。

周波数グラフと指向特性はこちら：



<https://austrian.audio/miccreator>

## MiCreator Y-Lav



MiCreator Y-Lav は、エンドデバイス（PC、タブレット、スマートフォンなど）に接続するための 3.5mmTRS ジャックを備えた、ケーブル長 2m のアナログピンマイクです。3.5mm TRS ソケットは、ヘッドフォンの接続にも使用できます。

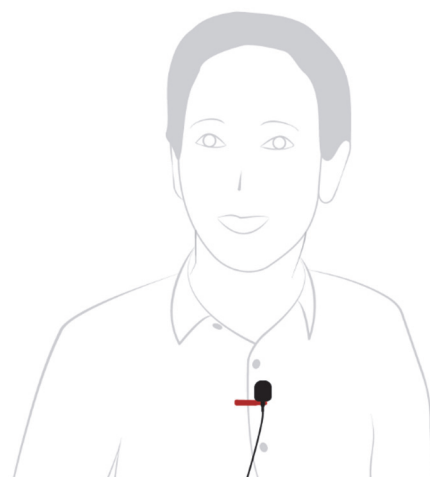
MiCreator Y-Lav は、**MiCreator Studio** と組み合わせることで最大の性能を発揮します。

注記：インタビューなどの際は、**MiCreator Y-Lav** をジャケットの裏地やシャツの前立てに取り付けると、卓上に載せた **MiCreator Studio** マイクと感度が完全に一致します。

## 設置位置と向き

MiCreator Y-Lav は、裏地などに取り付けるピンマイクとして設計されています。取り付けるには、マイクを取り付けたメタルクリップを広げ、衣服の布を挟み込みます。

このマイクは無指向性なので、あらゆる方向からの音を均等に拾います。そのため、話し声を他の音と分離して録音するには、できるだけ口の近くに取り付ける必要があります。いくつか位置を変えてみて、声だけをはっきりと最適な音質で拾える位置を見つけることをおすすめします。



マイクに装着されているウィンドシールドは、呼吸による雑音も防ぎます。風のない場所であっても、音を均一に保てるよう常にウィンドシールドを使用してください。

## ヘッドフォンの接続と起動

MiCreator Y-Lav は、TRRS ソケットのあるデバイス（MiCreator Studio にある「in/out」（入出力）と印字されたソケットなど）に接続します。MiCreator Y-Lav のマイク信号がエンドデバイスに送信される一方で、エンドデバイスからの再生信号は MiCreator Y-Lav のヘッドフォンジャックにルーティングされます。

このジャックは、ビデオ会議の他の参加者の声を聞くためのヘッドフォンの接続などに使用できます。

注記：Y アダプタ（MiCreator Satellite の提供範囲に含まれる HSA6 アダプタなど）を使用して、カメラなどのエンドデバイスのマイクジャックに接続することもできます。この場合、必要なプラグイン電源がエンドデバイスから供給されていることが条件となります。ご不明な点がある場合は、デバイスのメーカーにお問い合わせください。

## マイクゲインの調整

MiCreator Y-Lav は増幅機能を持たないため、音量はエンドデバイスに依存します。たとえば、話し言葉のマイク信号の推奨増幅度は約 20～30dB で、通常はノート PC などのデバイス

で設定可能です。詳しくは、メーカーにお問い合わせください。  
ヘッドフォンの増幅度（再生音量）も、個人の好みに合わせてエンドデバイスで設定します。

### ***MiCreator Y-Lav と MiCreator Studio を組み合わせて使う方法***

USB-C®接続が可能なマイクである MiCreator Studio は、MiCreator Y-Lav に最適なゲインを提供するよう設計されています。MiCreator Studio と組み合わせる際に推奨されるマイクゲイン設定については、**マイクゲインの調整**の章をご参照ください。

また、この 2 つのデバイスを「in/out」（入出力）ジャック経由で接続すると、MiCreator Studio の 2 つ目のヘッドフォン出力が MiCreator Y-Lav の 3.5mm TRS ジャックにリダイレクトされます。この配線にすることで、たとえば双方の話者がヘッドフォン経由で音を聞きながらインタビューを行うといったことが可能になります。

### ***MiCreator Y-Lav の持ち運び***

MiCreator Y-Lav は、必ず付属の布バッグに入れて持ち運んでください。ケーブルを引っ張ったり伸ばしたりして損傷しないよう注意してください。

## 技術仕様

カプセル：エレクトレットコンデンサー

指向特性：無指向性

周波数帯域：20Hz～20kHz

感度：5mV/Pa

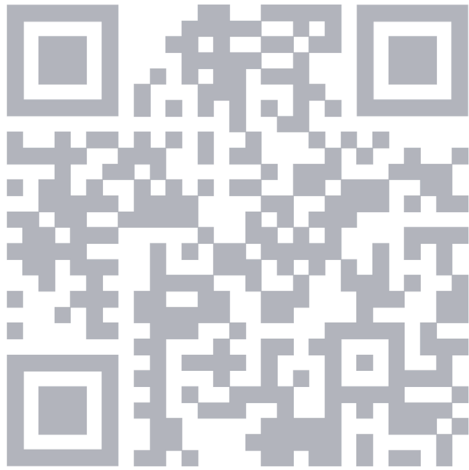
最大音圧レベル：120dB SPL

寸法 (ウインドスクリーン+マイクロフォンのみ)：35 x 17 x 17mm

重量：30g

すべての仕様は随時変更される場合があります。

周波数グラフと指向特性はこちら：



<https://austrian.audio/miccreator>

## トラブルシューティング

### MiCreator Studio

LED バーが点滅している	再生音量が最小に設定されているか、MiCreator Satellite に接続されていない MMC2 Link ケーブルが「in/out」（入出力）ソケットに差し込まれている。
エンドデバイスにマイク信号が届かない	マイクゲインスイッチが「mute」（ミュート）に設定されている。
マイク信号はエンドデバイスに届いているが、ヘッドフォンでは聞こえない	モニタリングバランスが、赤色モードの LED バーで一番右に設定されている（接続されたデバイスの信号だけが聞こえる状態になっている）。
MCC1 楽器用ケーブルで楽器を接続しているが、ヘッドフォンから聞こえない	モニタリングバランスが、赤色モードの LED バーで一番左に設定されている（マイクの信号だけが聞こえる状態になっている）。

### MiCreator Satellite

マイクをコンピュータに接続しているが、認識されない	コンピュータのモデルによっては、ヘッドフォンを MiCreator Satellite の「out」（出力）ジャックに接続しないと、ジャックに接続したマイクを認識しないことがあります。
---------------------------	--

### MiCreator Y-Lav

マイクをコンピュータに接続しているが、認識されない	コンピュータのモデルによっては、ヘッドフォンを MiCreator -Lav の 3.5mm ジャックに接続しないと、ジャックに接続したマイクを認識しないことがあります。
---------------------------	---

よくある質問はこちら：



<https://austrian.audio/micreator>



## 法務情報



適合宣言書の全文は、弊社ウェブサイト <https://austrian.audio> でご確認いただけます。



製品が寿命を迎えた場合は、筐体、電子部品、ケーブルを分別し、現地で運用される廃棄物処理規制に従ってすべての部品を廃棄してください。

USB-C®は、USB Implementers Forum の登録商標です。

iPhone®、iPad®、Mac®、macOS®および iPadOS®は、米国およびその他の国と地域で登録された Apple Inc.の商標です。

Linux®は、米国およびその他の国での Linus Torvalds の登録商標です。

Android™は、Google LLC の登録商標です。

Sony は、Sony Group Corporation の登録商標です。

PS4™および PS5™は、Sony Interactive Entertainment Inc.の登録商標です。

Windows®は、Microsoft グループ企業の登録商標です。

Torx®は、米国の Acument Intellectual Properties, LLC の商標です。

Copyright Austrian Audio 2023.

All rights reserved.  
**Austrian Audio GmbH**  
**Eitnergasse 15**  
**1230 Vienna**  
**Austria**

MiCreator\_Manual\_20231116